

物流事業と不動産事業を通じて 人々の豊かな生活と企業活動を支えています。

三菱倉庫グループは、倉庫事業を中心とする物流事業とビル賃貸を中心とする不動産事業を通じて人々の豊かな生活と企業活動を支える高品質なサービスを提供しています。



物流事業 倉庫事業・陸上運送事業



倉庫事業部長
加藤 栄一

三菱倉庫グループの倉庫事業・陸上運送事業は、食料品・医薬品等の生活必需品から先端産業関連資材に至る幅広い産業のサプライチェーンを担っており、社会経済の発展に貢献することにより成長してまいりました。今後も持続可能な社会の実現と事業成長の両立を目指して、新技術の導入等に積極的に取り組むこと等により、皆さまによりよいサービスが提供できるよう取り組んでまいります。

セグメント概況

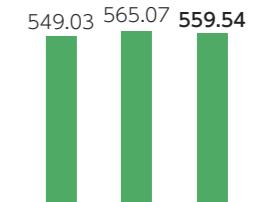
倉庫事業

医薬品、日用品等の取扱いが増加したものの自動車部品、飲料等の取扱いが減少しました。

2020年度営業収益

559億54百万円 (前年度比 1.0%減)

営業収益の推移(単位:億円)



営業収益の推移(単位:億円)



陸上運送事業

医薬品、日用品等の取扱いが増加したものの自動車部品、飲料等の取扱いが減少しました。

2020年度営業収益

482億14百万円 (前年度比 7.5%減)

事業戦略

倉庫事業

新たな物流市場に
対応したサービスの
充実

配送センター業務の
収益力及び
生産性の向上

社会・環境に
貢献する
配送センター運営

陸上運送事業

事業環境の
変化に対応する
輸送サービスの
展開

情報システムを
活用した新しい
輸送業務の確立

陸上運送業務から
排出されるCO₂の
削減

埼玉県三郷市に“SharE Center misato”を開設

2021年7月、三菱倉庫グループが運営する次世代型ECプラットフォームセンター“SharE Center misato”が稼働開始しました。

同センターは、自動搬送ロボット“EVE”やEC物流に特化した在庫管理システム“ロジザードZERO”を導入しており、ECに最適な物流サービスを提供します。

また、同センターは三郷ジャンクション至近に位置しており、お客様の商品の購入者様へスマートかつ確実にお品物をお届けすることができる配送サービスも提供しています。



■ 物流事業 港湾運送事業



港運事業部長

上田 精二

三菱倉庫グループの港湾運送事業は、国内主要港湾における港湾運送事業を通じ、社会経済の発展に貢献することを第一とし、経済発展とともに成長を続けてまいりました。今後は、情報通信技術を活用した港湾のスマート化及びデジタル化にも注力し、高機能、高効率なコンテナターミナル運営を目指すとともに、持続可能で豊かな社会の実現と、さらなるサービス向上に取り組んでまいります。

■ セグメント概況

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により取扱貨物量が落ち込みました。

2020年度営業収益

213億32百万円[※] (前年度比 9.2%減)

※船舶登録、代理店業務等の船舶関連サービスの収益額は含まず。



■ 物流事業 国際運送取扱事業



国際輸送事業部長

齐藤 秀親

海上・航空フォワーディングをはじめとした国際一貫輸送業務や、海外でのロジスティクス業務を中心に、お客様のグローバルサプライチェーンに貢献する物流サービスを展開しています。ESG経営／SDGs対応に向けた取組みでも取り上げている脱炭素化や、急速なデジタル化等、社会・産業構造が大きく変革する中、未来を見据えた提案とサービスを提供することによってお客様への価値創造を目指しています。

■ セグメント概況

新型コロナウイルス感染症の影響により貨物の取扱量が減少しましたが、後半から回復傾向となりました。

2020年度営業収益

465億14百万円 (前年度比 7.2%減)



■ 事業戦略

国際コンテナ戦略港湾政策への迅速・柔軟な対応	<ul style="list-style-type: none"> 4バース一体運営を実現した南本牧コンテナターミナルのさらなるサービス向上 Cyber PortやCONPAS等の実証実験参加による港湾物流の生産性向上
港運事業部門の事業拡大と競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> 在来船貨物事業及び自動車船事業の拡大 自営コンテナターミナル（大阪：南港C-9、神戸：六甲C-4）の戦略的運営
ESG経営／SDGs対応に向けた新技術の更なる活用	<ul style="list-style-type: none"> 物流プラットフォームを通じた情報共有による環境負荷軽減 洋上風力発電の海底地盤調査船代理店業務及び環境規制国際条約に伴う船籍登録業務の拡大

南本牧コンテナターミナルで「CONPAS」本格運用開始

2021年3月、南本牧コンテナターミナルにおいて、2017年度から国土交通省関東地方整備局とともに各種取組みを進めてきた、新・港湾情報システム「CONPAS」の本格運用を開始しました。「CONPAS」は、情報通信技術の活用により、コンテナターミナルゲート前の混雑解消や、コンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図るシステムで、今後さらなるコンテナ物流の効率化と生産性向上が期待できます。



■ 不動産事業



不動産事業部長

向井 隆

三菱倉庫グループの不動産事業は、よりよい街づくりのために物流用地を有効活用するというコンセプトに始まり、災害対策のノウハウを応用したオフィスビルのほか、商業施設や住宅等、幅広い不動産開発を通じて、社会に貢献してまいりました。

複合用途の街づくりを行い、高い運営力を発揮できる事業者を目指し、今後は既存施設の再開発に加え、他社主体の新規開発へ参画し、開発運営ノウハウ等を獲得していきます。

■ セグメント概況

新型コロナウイルス感染症の影響により商業施設を休業したほか、マンション販売物件が減少しました。

2020年度営業収益

361億53百万円 (前年度比 12.2%減)



■ 事業戦略

複合施設の開発・運営に関するノウハウ獲得	<ul style="list-style-type: none"> 2020年「名駅ダイヤメイテツビル」竣工（トピックス参照） オフィス・商業複合施設「グランフロント大阪」の共有持分を取得 神戸市・三宮「雲井通5丁目地区再整備事業」の優先交渉権者に選定
事業基盤強化と経営効率化に向けた施策実施	<ul style="list-style-type: none"> 当社子会社のダイヤビルテック[※]と名古屋ダイヤビルテック^株の合併

※当社賃貸ビル管理会社

■ 名古屋市西区内に「名駅ダイヤメイテツビル」が竣工

「名駅ダイヤメイテツビル」は、名古屋鉄道株式会社と共同で開発を進めたオフィスビルです。リニア中央新幹線の開通によりますます利便性が高まる期待される名古屋駅から徒歩4分の好立地にあり、安全性能と環境対応に優れた高品質なオフィススペースの提供を実現したほか、1・2階を地域の皆さんにご利用いただける歩行者通路として整備しました。地域の皆さんに愛され、多くのビジネスパーソンから支持されるワークプレイスとなるよう運営してまいります。

